

第1回 富士見市安全安心なまちづくり防犯推進市民懇談会
会議録

日 時 平成28年7月26日(火) 18:30~20:00

場 所 富士見市役所 市長公室

出席者 ◎市民懇談会

泰間	長坂	高野	羽石
○	○	○	○
清水	吉原	小柏	
○	○	○	

◎富士見市

星野信吾市長

◎事務局

市川自治振興部長、【安心安全課】岡課長・舎川主事

1 開 会

2 市長あいさつ

3 懇談会について

事務局より懇談会の趣旨等について説明を行った。

4 自己紹介

参加者と事務局の自己紹介を行った。

5 座長選出

清水 実氏を座長として選出した。

6 講話 - 地域の犯罪情勢について -

講師 東入間警察署 生活安全課 佐野係長

7 質疑応答・意見交換

参加者) 刑法犯認知件数のうち、自転車盗に占める割合が多いようだが、主な発生場所はどのような場所になるのか。

講 師) 駅前での発生が多い。また、盗難自転車については、半数程度が未施錠となっているため、施錠することで件数減少につながると思われる。ワイヤー錠による、二重ロックを推奨している。

参加者) 振り込め詐欺については、金融機関等で高額引き落としをされる方に関する情報を警察に提供することが有効だと考えるが、個人情報の問題もある。

特に自営業者の高額引き落としについては、見落としやすいと思う。

講師) 高額引き出し者が帰る前に情報提供いただければ、すぐに警察が金融機関等にかける。

参加者) 富士見市には、大型商業施設ができたことで、少なからず犯罪が増加すると思っていたが、そうでもないように感じている。特に子どもに関する実情は、いかがか。

講師) 大型商業施設ができたから犯罪が増えるか否かはわからないが商業施設内の万引きが多いことは事実である。子どもに関しては、ゲームセンターでゲームに夢中になってしまったためか、午後6時以降に子どもがゲームセンター内にいるというケースもあった。基本的に、人の集まる場所では、犯罪は増加する傾向にある。

また、最近では社会現象となっているポケモンGOの影響で子どもも含めて夜間でも公園等に人が多く集まっている状況がある。まだ、状況を見ているところで今後どのようなようになるかわからないが、対応をしていく必要がある。

参加者) 学校では、あいさつをするようにと指導を行っているが、同時に知らない人には近づかないという指導をしているなど、多少矛盾が生じている状況である。朝霞市の誘拐事件を受け、名札は学校に置いて帰り、登下校時に名札をつけないようにしている。

参加者) 学校内ではあいさつをしてくれる生徒も外では、あいさつをしてくれない。

参加者) 昔と違い、外では知らない人でもあいさつをするというよりも知らない人、不審者に近づかないという時代になっているため、仕方がないと感じる。

参加者) 今の時代は、公園で遊んでいる子どもたちに必ず親がついて見守っているような状況である。また、マンションのエレベーター等で犯罪被害に遭うことがないように、防犯上安全なエレベーターの乗り方でさえ指導しているようだ。家庭内での親の指導も大切である。

参加者) 親世代が地域活動に積極的に参加していないという問題が、地域との結びつきを希薄化させ、子どもの安全にも影響していると考えられる。親世代がもっと学校や地域と連携して、子どもの安全確保に努めることが必要である。

8 今後の予定について

事務局より懇談会の開催スケジュールについて説明を行った。